

新版 経絡経穴概論 第2版2刷→第2版3刷の変更・修正点

『新版 経絡経穴概論』は第2版2刷(2014年2月20日)から第2版3刷(2015年2月25日)に伴い、いくつか修正・追加した箇所がございます。

ページ	訂正箇所	変更前	変更後
p.8	同身寸法の③	母指と中指の指頭をあわせて環をつくり、中指の <u>内側</u> にできる横紋の端を結ぶ間を1寸とする。	母指と中指の指頭をあわせて環をつくり、中指の <u>桡側</u> にできる横紋の端を結ぶ間を1寸とする。
p.67	図の修正(臂膈と手五里の位置)		
p.76	人迎の「解剖」に文章を追加	広頸筋(筋枝) 顔面神経(頸枝), 《皮枝》頸横神経, [血管] 総頸動脈	広頸筋(筋枝) 顔面神経(頸枝), 胸鎖乳突筋(筋枝) 副神経・頸神経叢の枝 , 《皮枝》頸横神経, [血管] 総頸動脈
p.152	太衝の「取り方」	太溪の下方で踵骨上際, アキレス腱の前陥凹部を取る。	太溪の下方で踵骨 <u>上方</u> , アキレス腱の前陥凹部を取る。
p.174	天井の「取り方」*印部分	*肩関節を90度外転したときの肘頭から肩峰角までの長さを便宜上1尺とする。	*便宜上, 肘頭から肩峰角までの長さを, 上肢を下垂したとき1尺2寸, 肩関節を90度外転したとき1尺とする(p.177の図参照)。
p.175	図の修正(天井の位置)		
p.176	消灑の「取り方」	肘頭と肩峰角との中点で, 橈骨神経溝中 <u>に</u> 取る。	肘頭上方5寸, 上肢を下垂したとき肘頭と肩峰角とを結ぶ線の中点の下方1寸で, 橈骨神経溝中 <u>に</u> 取る。